

着任の御挨拶



小林 龍一郎
在マルタ日本国大使館 臨時代理大使
(在マルタ兼勤駐在官事務所長)

2026年3月25日にこの美しい国マルタ共和国に着任しました小林龍一郎です。

日本とマルタ共和国は共に海に囲まれた海洋国であり、自由、民主主義、人権、法の支配といった価値や原則を共有するパートナーです。マルタ共和国は、永らく在イタリア日本国大使館の兼轄国でありましたが、2国間強化のために、2024年1月に、スリーマに常駐となる在マルタ兼勤駐在官事務所が開設されました。2025年には大阪で行われた万博の機会に、イアン・ボージュ副首相兼外務・観光大臣やグリマ教育・スポーツ・青少年・研究・イノベーション大臣が訪日をされ、日本からは藤井外務副大臣（当時）が日・マルタ外交関係樹立60周年で訪問されるなど、両国の緊密な関係が確認されました。本年ワーキング・ホリデー制度も開始され、青年交流を通じた二国間の相互理解の一層の深化が期待されます。

私としましては、先人が織りなした良好な二国関係をベースに、小野日子駐イタリア特命全権大使の指示を得つつ、日本ならではの繊細で緻密な外交を館員全員で展開していく所存です。

マルタ共和国はその世界に誇る美しい世界遺産と豊富な自然と歴史的な役割について日本でよく知られています。既に語学留学や旅行先として有名であり、人生の間に一度は訪問したい国となっています。日本も同様にその豊かな文化や歴史や風土はマルタの皆様にとって必ずや魅力あふれる国に違いないと確信しています。これから任期間、できるだけ多くの人とお会いして、できるだけ多くのマルタの魅力に触れ、そして、両国の関係をできるだけ深く豊かに進展させていきたいと思っています。

マルタはEU加盟国であり、同時にアフリカ・中東と連結する西欧の国として、マルタの地理的特性を生かした経済外交、具体的には日本企業支援に力を注ぎたいと思っており、またマルタの皆様は日本のすばらしさをさらに理解し、一人でも多くの方に日本ファンになっていただけるよう様々な日本紹介文化事業に力を入れていきたいと思っています。そして、最も重要なこととして、在留邦人の皆様には頼りになる大使館として早く皆様のお役に立てるように随所を整備していきたいと思っております。